

新学術領域研究：予測と意思決定の脳内計算機構の解明による人間理解と応用

第4回領域会議

The 4th Research Area Meeting

Grant-in Aid for Scientific Research on Innovative Areas:

**Elucidation of the Neural Computation for Prediction and Decision Making**

2012.11.16-18

京都大学 北部総合教育研究棟 益川ホール

Masukawa Hall, Kyoto University

11月16日（金）チュートリアル「脳画像研究の基礎から最先端まで」

|             |   |
|-------------|---|
| 13:00-      | 受付  |
| 13:30-14:30 | チュートリアル1「構造MRI」宮田 淳先生（京都大学）               |
| 14:30-14:45 | 休憩  |
| 14:45-15:45 | チュートリアル2「機能的MRI」酒井 雄希先生（京都府立医科大学）         |
| 15:45-16:00 | 休憩  |
| 16:00-17:00 | チュートリアル3「PET、受容体イメージング」伊藤 浩先生（放射線医学総合研究所） |
| 18:00-      | 自由討論および懇親会：別会場                            |

11月17日（土）領域会議

|             |   |
|-------------|---|
| 9:00-       | 受付  |
| 9:30-9:45   | 領域代表挨拶 銅谷賢治                                     |
| 9:45-10:10  | 坂上雅道(A02 計画) モデルベース的意思決定を可能にする神経回路              |
| 10:10-10:35 | 銅谷賢治(A02 計画) 予測と意思決定の神経回路ダイナミクスの解明              |
| 10:35-11:00 | 岡本 仁(A02 計画) 意思決定神経回路の可視化と操作                    |
| 11:00-11:20 | 休憩  |
| 11:20-11:45 | 高橋英彦(A03 計画) 精神・神経疾患における熟慮的および直感的意思決定障害の脳内基盤の解明 |
| 11:45-12:10 | 木村 實(A03 計画) 予測と意思決定の大脳基底核と扁桃体の神経回路基盤           |
| 12:10-12:35 | 疋田貴俊(A03 計画) 報酬・忌避の意志決定の機構解析                    |
| 12:35-12:40 | 事務連絡  |
| 12:40-14:00 | 昼食(総括班会議)                                       |
| 14:00-16:00 | ポスター発表  |
| 16:00-18:00 | テーマ別分科会   |
| 18:30-      | 懇親会：別会場   |

11月18日（日）

|             |   |
|-------------|---|
| 9:00-       | 受付  |
| 9:30-9:55   | 杉山 将(A01 計画) 予測と意思決定のための機械学習理論の構築とその神経回路での実現    |
| 9:55-10:20  | 柴田智広(A01 計画) 実店舗におけるヒトの購買意思決定過程のモデル化と操作         |
| 10:20-10:45 | 岡田光弘(A01 計画) 予測・判断・意思決定の論理と計算                   |
| 10:45-11:10 | 今井むつみ(A01 計画) ヒト乳児の言語学習を可能にするモデルフリー・モデルベースの学習機構 |
| 11:10-11:30 | 休憩  |
| 11:30-12:30 | 特別講演：村井俊哉教授（京都大学大学院医学研究科）                       |
| 12:30-13:30 | 昼食  |
| 13:30-15:30 | ポスター発表  |
| 15:30-16:00 | 分科会報告   |
| 16:00-16:30 | 総合討論&事務連絡                                       |

## 新学術領域研究「予測と意思決定の脳内計算機構の解明による人間理解と応用」

### 第4回領域会議 特別講演

**講演題目：**「精神科臨床と意思決定：さまざまな局面での関わり」

**講師：**京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

村井 俊哉

#### 講演概要

統合失調症、うつ病、神経症の診療ができれば精神科医として一人前と考えられていた一昔前とは様変わりし、今日の精神科の臨床現場では、社会から要請される業務が年々多岐になりつつある。そのような中で精神科医は、古典的な症候学・疾病分類学という慣れ親しんだ医学・心理学モデルの枠組みだけではうまく捉え切れないような病態や課題の多くに直面している。そこには、広汎性発達障害、ギャンブル依存、通称「新型うつ病」などの狭義の精神医学的問題に加え、チーム医療現場での望ましい意思決定のあり方や、我が国の高い自殺率への取り組みなど、医師对患者という一対一の治療場面を超えた問題も含まれてくる。

学際的な「意思決定」研究は、精神科医療現場でのそのような雑多な問題を概念的に整理し、実証データを提供し、医学的・社会的なソリューションへ近づける有力な方法となるかもしれない。一方、精神医学の側からの貢献もある。精神科臨床の諸問題は、社会生活の中での人の多様で複雑な行動をその純粋型・典型として表しているとみなすこともできる。すなわち、精神科臨床が提供した問題群に対して「意思決定」研究の理論構築、実証研究が進展することは、人の社会行動一般の理解にも寄与するところが大きいと考える。